

2年生修学旅行を終えて

校長 霜田 泰徳

先日、四国地方が梅雨入りしたというニュースが流れました。平年より少し早い梅雨入りということでした。私の自宅では、昨年庭に植えた紫陽花が鮮やかな花を咲かせ、その鮮やかさが曇り空とは対照的で、目も心も和ませてくれます。

さて、5月27日～29日の3日間、2年生と一緒に沖縄県へ修学旅行へ行ってきました。台風接近の予報を気かけながらの旅行でしたが、1日目に霧雨のような弱い雨が時折降ったものの、予定していた活動を中断することなく、無事帰路につくことができました。マリン体験や美ら海水族館で見た真っ青な海。沖縄ならではの民泊体験。普段見かける町並みとは違った国際通りでの自由行動。南国らしい日差しもあり、一足早く初夏を感じることができました。

中でも、私が一番印象に残ったのは、1日目に訪れた糸数壕（アブチラガマ）での生徒たちの様子です。糸数壕までの車中では、長時間の移動に疲れた様子の生徒がいたり、バスから見える南国の風景や友だちとの会話に興奮気味の生徒がいたり……。正直、「戦争の厳しさや理不尽さについて、また平和であることのありがたさや大切さについて、ちゃんと実感してくれるだろうか」と少し心配していました。でも、それは余計な心配でした。壕の暗がりの中で、専属ガイドの宮城あゆみさんの説明を聞く生徒たちの表情が真剣そのものだったからです。焼け焦げ錆びついた金属片が突き刺さった洞窟の壁。爆風に歪んだ器や朽ちた靴などの破片。“本物”を目にして、触れて、一気に78年前の戦場へ引き込まれていく様子が分かりました。おそらく、今テレビを通して見聞きしているウクライナの惨状と目の前の“本物”を重ねていたのでしょう。

今、沖縄では（昨年訪れた広島もそうでしたが）年々高齢化が進み、実際に戦争を体験された方から直に体験談を聞かせていただける機会が、どんどん少なくなっているということでした。糸数壕の中で、ガイドさんの一言一言にしっかり耳を傾け、自分なりに想像力を精一杯働かせて平和について感じようとしている生徒たちの姿に、素直さや優しさを感じられたいい修学旅行でした。



6月のこれからの行事予定

- 9日(金) 租税教室2年
- 10日(土) 県総体南部Bブロック大会(第1日)
- 11日(日) 授業参観, 県総体南部Bブロック大会(第2日)
- 13日(火) 眼科受診(1年全員, 2・3年の一部)
- 15日(木) 歯科検診(3年全員)
- 16日(金) 命の安全教育講演会(3年)
- 17日(土) 県総体南部Bブロック大会(第3日)
- 18日(日) 県総体南部Bブロック大会(第4日)
- 19日(月) 県総体南部Bブロック大会(第5日), 振替休業日
- 20日(火) 英語検定
- 21日(水) 県総体南部Bブロック大会(第6日), 専門委員会, 尿検査3回目
- 22日(木) 歯科検診1・2年全員, 代議員会
- 23日(金) 教育実習最終日
- 24日(土) 県総体南部Bブロック大会(第7日)



栄光の記録

- 令和5年度南部Bブロック春季バスケットボール大会
 - 男子団体 優勝
 - 女子団体 優勝
 - 3年 久家優希
 - 2年 萩野里帆
 - 男子団体 第3位
 - 3年 品川桜介
- 第34回読書感想画中央コンクール 奨励賞
- 第45回徳島陸上競技カーニバル大会 女子100H 第2位
- 第73回徳島県中学校バスケットボール選手権大会 男子団体 第3位
- 第32回徳島県空手道少年大会 組手 第3位
- 令和5年度南部Bブロック中学校春季ソフトテニス大会(個人の部)
 - 女子 準優勝 中川明咲・岡澤愛奈ペア
- 第77回県中学校女子ソフトボール選手権大会 準優勝
- 令和5年度南部Bブロック中学校春季卓球大会
 - 男子団体 準優勝
 - 女子団体 優勝
 - 男子個人 準優勝 3年 光井智彦
 - 女子個人 優勝 3年 久米結菜
 - 準優勝 3年 井口愛埜
 - 第3位 3年 片山心乃華
 - 優勝 1年 原田 颯
- 2023年度サーフィン徳島支部予選 ボーイズ 優勝
- 第37回県下中学校柔道体重別選手権大会
 - 女子70kg超級 優勝 3年 吉谷思唯
 - 女子44kg級 準優勝 3年 請田和花
 - 第3位 2年 吉岡瑠花
 - 男子50kg級 第3位 2年 小塚隼澄
 - 男子60kg級 第3位 2年 中山湊介
 - 奨励賞(テニス) 3年 尾崎悠愛
 - 令和4年度阿南市体育奨励賞 個人総合 第1位 3年 木本琉己
 - 第37回徳島県ジュニア新体操選手権大会
 - リボン 第1位 3年 木本琉己
 - 団体の部 第3位 3年 木本琉己
 - 2年 田中真歩
 - 1年 米沢伊織